

た芸術文化に接し、自ら活動し、発表できる場をつくる考えであります。

村民が多くの人々とスポーツやレクリエーションを通じ積極的な交流を図り、自らの健康づくりに心掛け、楽しみながら運動やスポーツに親しむ環境づくりにも努めて参ります。

住民参画の村おこしを

コミュニケーション活動、交流の促進 個性豊かで、住む人々が輝いている地域をつくるには、環境保全、福祉活動、イベントづくりなどさまざまな活動を自主的に実践するコミュニケーション組織を積極的に支援 一人一役運動を推進

ふだいまつりや村民運動会、総合文化祭などの行事に企画から運営にいたるまで多くの方々に参画いただき、村民が一体となって村おこしに取り組む体制づくりに努めなければなりません。

地域をより活性化するには、多様な交流と連携を促進することが必要であります。



子育て支援は少子化対策と一体 (保健センターで予防接種)

子育て支援 さらに充実

少子高齢化に対応する後継者対策

少子化の進展は、村の産業や社会活動を支える後継者に支障をきたし、地域活力の希薄化にもつながるものであり、改善に積極的に取り組む必要があります。このため、安心して子どもを産み育て、子育てと働くことの両立を支援する子育て支援事業のさらなる充実に努めて参ります。

高齢者にも、その経験と知識を活かし体力に見合った生産活動、福祉活動、ボランティア活動など積極的に参加いただくよう啓発するとともに、活躍する場の創出にも努めます。

豊かになる 漁家を育成

水産業の振興 水産業を取り巻く環境は、輸入産物の増加と国内産価格の低迷、ハサップ対応、漁業関係団体の統合、魚市場の再編の動きなど極めて厳しいものがあります。生産量や販売額が村の経済を大きく左右します。



村の経済を支える秋サケ定置網漁

漁業系廃棄物の縮減にもつながる海産物の商品化拡大、高付加価値化、ブランド化、生産コスト低減のための共同化、販路拡大などに国・県、業界との連携を図り、本村漁業の再生に漁業協同組合とともに一層努力を重ねて参りたいと思います。

漁業経営者の高齢化と漁家数の減少が進んでおり、対応にも参ります。

取り組みたいと考えております。

村が海産物の販路拡大支援のため、都市部などで行っているPRイベントや産品情報の発信、消費団体などへのアプローチ、トップセールスなども引き続き実施いたします。

経営改善と 技術を向上

農林業の振興

普代地区県営農地開発事業も完了し、普代ダムの管理も村が受託して行うことになりました。いよいよ、本格的な農業の振興に万全を期さなければなりません。

用水の有効利用のため大規模農地に適した新作目の導入の検討や既存休耕農地を活用した栽培施設の整備を図り、地域一体農林業の推進に努めて参ります。

和野山、黒崎、向野場地区でのこれまでの営農実績を点検しながら、より高収益で安定している施設野菜栽培の拡大や特産化、地産地消運動の推進など、農業協同組合と連携して取り組みたいと考えております。

地場産業の 確立に努力

林業の振興

チップ材需要などが極度に落ち込み木材生産部門の経営は見通しが立たない状況にあります。本村の誇りでもある品質に高い評価を得ている菌茸栽培により一層力を注ぎ、森林組合と一緒に生産拡大など努めて参ります。